

## 政策対話（産業労働部）の概要

### 1 テーマ

産業人材の確保と育成について ～今後の諏訪地域の発展に向けて～

### 2 実施概要

#### (1) 日 時

令和5年11月6日（月）午後2時00分から午後4時00分まで

#### (2) 実施手法

集会形式（諏訪商工会館 5階 大会議室（諏訪市小和田南14-7））

#### (3) 参加者

一般参加者：8名（諏訪地域の企業経営者、金融機関、工業・実業高等学校等）

ファシリテーター：2名

県側：5名（産業労働部長、産業政策課長、産業人材育成課長、労働雇用課長、諏訪地域振興局長）

### 3 対話での意見（概要）

区 分	意 見	意見に対する県の考え方	令和6年度当初予算への反映
産業人材の確保について	<ul style="list-style-type: none"><li>・人材の確保は厳しくなった。製造業においては、特に理工系の学生が大手企業に採られてしまう状況。</li><li>・様々な事情から定時に働けない方に対し、その能力を活用できないのはもったいない（当社では、子育て中で夜7時から12時まで空いている方に働いていただくという雇用形態を一部採用）。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・人口減少が進行する中で、人材を確保していくにあたっては、テレワークやショートタイムワーク、兼業・副業など、働く人たちの多様性を尊重することが重要と考えます。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ライフスタイルに合わせた多様な働き方創出事業【17,359千円】 子育て中の女性や障がい者、高齢者等の多様な人材の労働参加を促進するため、ジョブ型雇用や短時間正社員制度といった多様な働き方の一つとして、企業のショートタイムワーク求人創出を支援します。</li></ul>
産業人材の育成について	<ul style="list-style-type: none"><li>・工業系の高校から地元企業へ就職する学生は減り、進学する学生が増加している。</li><li>・職場の雰囲気や生活がイメージできることは大事。</li><li>・小学校から高校まで、地域の産業や企業の魅力が伝えられるような仕組みを作ってはどうか。</li><li>・地元の人材を地元で育てる仕組みを作り、流出を防ぐことを考えていかなければならない。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・いずれ高校生が県外の大学に進学しても、地元へ愛着を持って帰ってきてもらえるよう、子どもの頃に地元の企業の現場の雰囲気や働く人の魅力を伝えられるような仕掛け等が重要と考えます。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・「はたらく」を学ぶ信州職業体験フィールド展開事業【19,028千円】 将来の県内産業の担い手確保に向け、小学生から高校生それぞれのステージで職業体験の場を提供するとともに、地域の産業や企業の魅力を伝える地域主体の取組の推進に向けた検討を行います。</li></ul>